



特定非営利活動法人

日本防災士会高知

正会員55名 賛助個人会員10名 賛助法人会員1団体（令和2年10月）

特定非営利活動法人

日本防災士会高知

JAPAN BOUSAISU SOCIETY KOCHI

〒780-0914 高知市宝町19-20

Tel/Fax088-875-9773

http://bousaishikochi.watson.jp/



出前講座 新型コロナウイルス感染防止対策



依然として新型コロナウイルス感染症が流行している状況ですが、年度当初は例年に比べて極端に少なかった南海トラフ地震対策出前講座への依頼が徐々に増えてきました。

当会では講座実施にあたり感染症対策として講座メニューの内、対面で行う実技メニューの一部について実施を保留、また依頼者に対して具体的な感染症対策を提示して協力をお願いしています。

内容は、会場内での三蜜の回避、手指の消毒、マスク着用、参加者の健康チェック、そして講師によるこれらの確認となっています。最近では当会が依頼するまでもなく申込者側で感染症対策が行われています。なお、講座メニューの一部保留の内容、また感染症対策の具体的内容については当会のホームページに掲載しています。

スキルアップ研修会 「新型コロナウイルスを知ろう」



スキルアップ研修会を10月3日（土）、高知市江ノ口コミュニティセンターで開催しました。講師に日本赤十字社高知県支部の村越麗氏を迎えて「新型コ

新型コ

ロナウイルスの3つの顔を知ろう」を講演していただきました。このウイルスの3つの感染症、「病気としての感染症」、「不安と恐れを感じる感染症」、「嫌悪・偏見・差別を生む感染症」について具体的に説明していただきました。

NHKとの連携協定に基づく活動

6月24日に日本防災士会高知と日本放送協会高知放送局間で締結した「連携協定」に基づく活動を行っています。

10月末までに「こうち いちばん」(月～金 6:10～7:00)に出演するなどの協力を行いました。内容は、「大雨に備えて日頃から取り組んでおくこと(避難準備品等)」、「ハザードマップを見る・マイタイムラインを持つ」等について説明を行いました。

協定では災害時の動画撮影と情報発信(地域の災害情報の発信)も連携の例です。安全を確保して、会員の皆様から「NHKスクープBOX」を利用して投稿・情報発信をお願いします。

講演会・研修会の積極的利用

当会ではスキルアップ研修を定期的に開催してきました。一方、他団

体が開催する防災関係の講演会・研修会を目にします。そこで、参加した会員からの情報をもとに最近の講習会と講演会をご紹介します。(高知市内開催)



9月22日開催の「車いす避難サポーター養成講座」(徳島文理大学主催)では、避難路の様々な障害物を乗り越えるテクニク、10月10日開催の防災講演会では「災害支援」の事例報告、そして「避難所生活における車中泊支援について」の講演と意見交換会が開催されました。(高知市民活動サポートセンター主催)

本部オンライン研修

日本防災士会主催のスキルアップ研修では新型コロナウイルス感染症予防対策としてオンラインで実施しているものがあります。ご自宅でも研修が受講できます。ご利用ください。

出前講座「事業継続計画」

高知トヨペット(株)様から南海トラフ地震対策基礎講座、初動訓練、事

業継続計画の基礎、の依頼がありました。本店を含む県内5店舗の社員百余名を対象とするものです。これまで津波避難訓練の支援をさせていただいていましたが、本年度は事業の継続がメインテーマです。初動訓練では発災直後の顧客と自信の安全確保などについて考えていただきました。新型コロナウイルス感染症対策として、体温測定、手指の消毒、マスク着用、体調確認、そして30分ごとの休憩と換気を行いました。

防災一ロメモ

竹田理事長から「災害時の汚物処理」について投稿をいただきましたのでご紹介します。

「災害後は上下水道が被災しますので何時ものようにトイレは利用できません。その場合ビニール袋等を利用して排泄をされること

があると思いますが、汚物は行政からの収集連絡があるまで保管することになります。収集が可能になった時、大きなビニール袋にまとめ、袋に目立つように「汚物」と記載して指定場所に出せばいいと思っています。ごみ収集は各市町村の所管ですので収集方法は県下統一ではありません。市町村によって違います(決まっていない市町村がある)ので、事前に住まいの市町村に確認しておいて下さい。